

第 1 回分科会でいただいた御意見への回答について

資料の該当箇所	質 問	対応等
資料 2-2 4 ページ 施策名 5 福祉人材等の確保・定着 対策の推進 指標名 介護保険関係介護職員の数	福祉人材等の確保・定着対策の推進について、増えている感じはするが、どこが一番増えている人材か教えてほしい。 ホームヘルパーからすると在宅は居なくて困っている。減っている感じがしたが増えているのはどの辺なのか。	平成 22 年から 24 年における県内の介護職員の増加数は、常勤換算で、施設サービス部門が 1, 733 人、在宅サービス部門が 3, 446 人、地域密着サービス部門が 1, 399 人の計 6, 578 人となっています。 特に職員数が増加したものは、施設サービスにおける介護老人福祉施設が 1, 457 人、在宅サービスにおける通所介護が 1, 284 人となっています。 なお、在宅サービスにおける訪問介護の職員数は、平成 22 年は 8, 608 人であったが、平成 24 年では 9, 343 人であり、735 人の増加となっています。 ※ 現行計画 (H24~H26) の介護職員数は、常勤換算後の数値を用いていますが、今後は国が定めた需給推計システムにより、常勤だけでなく非常勤も含めた「実人数」で推計し、次期高齢者保健福祉計画でもこの推計数値を用いる予定です。実人数で計算することにより、これまでより人数が多くなります。
資料 3 (A4) 1 ページ (素案 59 ページ) 施策名 目標 I-1-② 高齢者が能力に応じて働き続けることができる環境づくり	農林水産業などの 1 次産業への参入を希望する定年退職者などに就業相談や農地確保の支援等を行いますとあるが、具体的なイメージとしてどのようなものか。	1. 新規就農相談センター 新規就農希望者に対する、円滑な就農及び定着を図るため県内 13 箇所の新規就農相談センターがそれぞれの連携と役割分担のもと、就農相談、技術習得、農地確保、就農計画作成、補助事業及び融資制度の活用などきめ細やかな支援を実施しています。 2. いきいき帰農者研修 定年退職者や U ターンの就農希望者に対し、就農をサポートするための研修を各農業事務所で実施しています。